



はじめに

生活習慣病対策は、国民の健康の保持、増進のための重要な課題であり、特に予備軍を含めて患者数が1620万人といわれる糖尿病については、積極的に取り組んでいかなければなりません。

平成17年2月に日本医師会、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会の三者で、「日本糖尿病対策推進会議」を設立し、糖尿病に関する知識の普及啓発のため、医師向けには、ガイドライン「糖尿病治療のエッセンス」、国民向けには、「リーフレット」、「糖尿病神経障害ポスター等」の作成、また市民公開フォーラムの開催等の活動をしてまいりました。

「糖尿病治療のエッセンス」については、糖尿病治療ガイド(日本糖尿病学会編)を参考に糖尿病治療のポイントをとりまとめており、日常の診療にお役立ていただいておりますが、発行から早くも2年が経過しており、改訂版を作成することといたしました。

本エッセンスの改訂版では、インスリン療法についての解説を加えるとともに、新たな経口血糖降下薬を追加するなど、よりわかりやすいものといたしました。

糖尿病の治療にあたっては、かかりつけ医と専門医との連携と知識の共有、さらには、コメディカルとのチームによる医療が必要であります。

本エッセンスの改訂版が、日常診療に活用され、糖尿病患者及び合併症を引き起こす患者の減少につながることを期待いたします。

平成19年3月

日本医師会会長 唐澤祥人
日本糖尿病学会理事長 春日雅人
日本糖尿病協会理事長 清野 裕